

2022年8月23日

大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室
教授 玉置 淳子

試料・情報を二次利用した研究のお知らせ

大阪医科薬科大学 衛生学・公衆衛生学教室では、現在実施している介入研究「口腔衛生をはじめとする健康増進に対する運動介入の有益性の検証」（通知番号 倫 24）（以下、インターバル速歩介入研究）で採取された試料・情報を二次利用して、2019年より下記の研究を実施しています。この度、研究期間を延長しましたので、お知らせします。

1. 研究課題名

認知機能及びサルコペニア（加齢に伴う筋減少）に対する運動介入の効果に関する研究

2. 研究の対象

インターバル速歩介入研究に、2017年10月から2019年11月までの間に参加し、参加時に試料や情報の二次利用に同意が得られた方。

3. 研究の意義

インターバル速歩によって、認知機能の改善やサルコペニアの抑制ができるかどうかを細かく分析できることです。

4. 研究目的・方法

目的は、認知機能と血液中の関連物質（BDNF）濃度、及びサルコペニアと血液中の関連物質（CAF）濃度に対して、インターバル速歩介入が影響するか否かを検討することです。

研究は、本学衛生学・公衆衛生学教室内及びトランスレーショナルリサーチ部門内で実施します。

5. 研究期間

研究期間は、2019年10月1日～2025年9月30日を予定しています。

6. 研究に用いる試料・情報

試料：インターバル速歩介入研究で採取された凍結血液

情報：インターバル速歩介入研究で収集した年齢、身長、認知機能、握力、歩行速度、筋肉量等

管理責任者：衛生学・公衆衛生学教室 教授 玉置 淳子

7. 本研究における試料・情報の利用辞退

本研究で試料・情報を用いることについて、対象者の方もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、次ページの連絡先までお申し出ください。その場合でも対象者の方に不利益が生じることはありません。

8. 個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き

個人情報の取り扱いについては、十分に注意を払い、論文や学会発表等では個人情報が特定されないようにいたします。また、研究対象となる皆様から、個人情報の開示の求めがあった場合には、すみやかに開示を行います。

9. 個人情報の取り扱いに関する相談窓口

対応者：神谷 訓康

連絡先：072-684-6253（内線：2652）

10. 利益相反について

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

11. 研究組織

研究責任者：衛生学・公衆衛生学	教授	玉置 淳子
研究分担者：神経精神医学	教授	金沢 徹文
泌尿器科学	講師	小村 和正
一般・消化器外科学	講師	谷口 高平
衛生学・公衆衛生学	非常勤講師	林 江美
衛生学・公衆衛生学	講師	久藤 麻子
衛生学・公衆衛生学	講師（准）	神谷 訓康

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記にお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報の利用辞退及び研究に関する問い合わせ先：

大阪府高槻市大学町 2-7 大阪医科薬科大学 衛生学・公衆衛生学教室

研究分担者 衛生学・公衆衛生学教室 講師（准） 神谷 訓康

電話：072-683-1221（内線：2652）